

向学

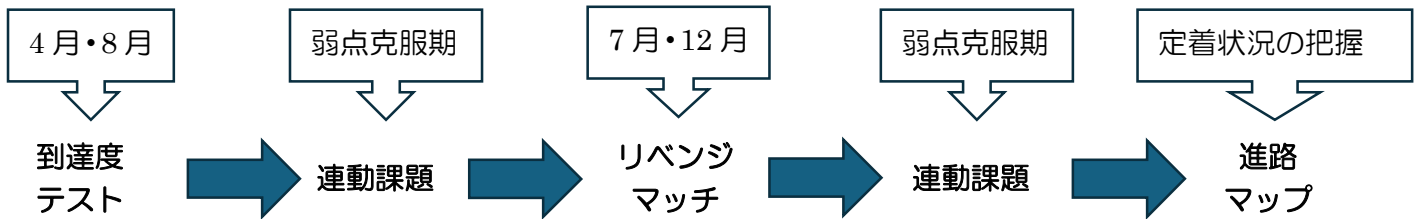
徳之島高等学校 進路通信
進路指導部 進路情報係 第 9 号
発行日 R8. 3. 23 (月)



いま大切なのは、「夢を持つこと」より「自分の現在地を知り、次の一步を決めること」

今年度も終わりが近づき、次の学年への準備を始める時期になりました。

「まだ夢が決まっていない」「何から始めればよいかわからない」という人もいます。けれど、進路を考えるときに、最初から大きな夢がはっきりしている必要はありません。まず大切なのは、今の自分の力や課題を知ることです。今年度は、



という流れで学習に取り組んできました。進路実現に向けて大切なのは、漠然と勉強時間を増やすことではなく、自分の弱点を知り、苦手分野を確実に補強することを意識して学習することです。

1 進路マップでわかること

1月の進路マップでは、自分の学力が他者と比べてどの位置にあるのか、また国語・数学・英語の強みや弱みを知ることができます。

進路マップは、「今の自分の現在地」を知り、何を優先して学び直すべきかを考えるための大切な資料です。

2 大事なものは、「動画をどれだけ見たか」より「学習内容をどこまで身に付けたか」

9月の到達度テストの結果をもとに配信された連動課題は、弱点を補強するためのものです。分析からは、連動課題(確認テスト)のマスター率が高い生徒ほど、その後のテストや進路マップの結果も高い傾向が見られました。大切なのは、ただ動画を見ることではなく、確認テストを100%になるまで取り組むことです。

3 結果から見えること

同じように「勉強が苦手」に見えても、課題は人それぞれです。

① マスター率が低い人

学習習慣に課題がある可能性があります。まずは毎日少しずつ続けることが大切です。

② マスター率は高いのに得点が伸びにくい人

理解や定着が十分でないかもしれません。

「正解した」で終わらず、「なぜそうなるのか」を説明できるまで考えることが必要です。動画を停止してメモを取ったり、わからない部分を繰り返し見直したりしましょう。

③ マスター率も得点も高い人

弱点補強が順調に進んでいます。復習を続けながら、次のレベルに進むことが大切です。

4 基礎学力は、一朝一夕には身につかない

今回の分析では、1月の進路マップの結果との関連を比べると、12月の到達度テストの結果よりも、9月の到達度テストの結果のほうがやや強く結びついていました。これは、進路マップの結果が、直前の学習成果だけでなく、それまでに積み上げてきた基礎学力の影響も受けている可能性を示しています。

だからこそ、進路実現のためには、その場しのぎの学習ではなく、基礎学力を積み重ねていくことが大切です。

5 先輩からのメッセージを真摯に受け止めよう

3月17日（火）6限に実施された「合格体験を聞く会」の感想を紹介します。

4年制大学

- ・ 友達と遊ぶことは楽しいけど、そこを乗り越えたら後からの人生を楽しく過ごせると思うから勉強を頑張りたい。
- ・ 「遊ぶのは今じゃなくても後からできる」という言葉もとても刺さった。今ではなく、将来を見据えた生活をしたいと思った。
- ・ 自分もこの会に呼ばれて、自分の進学する大学を自慢したいという気になり、モチベーションが上がった。
- ・ 11月まで部活を続けることを選び、部活と勉強を両立させていた先輩もいるので、部活を言い訳にできないなと改めて思いました。土日は、部活か遊びという日々を送っていて勉強時間が全く足りていないのが現状です。先輩たちがオススメしてくれた「学校」も利用しながら土日勉強する習慣を身に付けたいです。



- ・ 苦手な科目を克服するための工夫の仕方や、休日の過ごし方など、今から実践できるものが多くあると思うので、行動に移せるように頑張っていきたいです。周りの協力してくれる人たちやアプリなどを活用してよりよい受験生活にしていきたいです。



- ・ 1日の終わりに、その日出来たことや今の課題、次の日の目標を書いたら良いと聞いたので、実際にやって勉強の質を上げていけるようにしたい。
- ・ 苦手科目の対策方法を聞いたときに「自分が出来るようになるまでたたきこむ」という意見が多いかなと思っていただけ、逆に自分の得意科目を伸ばしたり、スタサブなどで基礎を固めるなど意外な意見が多くて驚いた。

就職・短期大学・専門学校

- ・ ただただ勉強するのでは、あまり意味がない。分からない所はその教科の得意な人に聞いたり、先生に聞いたり、分かるまで取り組むことが大事。
- ・ 私は、「合格体験を聞く会」で決めたことがあります。1つ目は、遅刻や欠席をしないようにします。2つ目は、進路をできるだけ早く決めます。
- ・ 就職先を早めに決めて勉強をしていかないと、「勉強量が足りていなかったら、試験ですごく不安な気持ちになる」と言っていたので、十分に勉強をして、自信を持って試験に挑めるようにしたい。
- ・ 絶対に部活をやめないで続けて、もっといろいろな人と関わり、卒業するまでにたくさんの経験を積めるように頑張りたいと思いました。どこにでも行けるような学力をつけられるように今からもっと頑張りたいです。
- ・ 就職とか大学受験は、自分のこれからの人生を決める大事なものでもあり、自分が一人ですることができるようになったことを親や先生方に示すものでもあるんだなと思いました。
- ・ 卒業生から勉強をしっかりすることや、自分が没頭することが学校生活の中で大切と聞いて、今日から意識したいと思いました。総探から夢が決まることもあると聞いて、真剣に取り組みたいです。数学、国語を特に勉強しつつ、体力面、精神面も鍛えていきたいです。
- ・ 自分がなぜその仕事をしたいのか、なぜその学校に行きたいのかを考えて学校を決めた方がよいと思った。いろんな支援があったり、取れる資格の量なども調べて、学校を決める方がよいと思った。
- ・ 普段からの規則正しい学校生活はもちろんだけれど、加えて授業態度や資格取得が自分の選択の幅を広げるためになるから重要だということが改めて分かった。
- ・ 合格体験を聞いて分かったことは、進路を早く決めること、好きなことを見つけることです。理由として、早く決めなかったら、2年次の選択科目での教科と、入試、共通テストを受ける際の教科が違うため、独学で対策をしなければならぬからだと分かりました。



先輩方の話から学べるのは、進路実現は特別なことではなく、毎日の積み重ねの先にあるということです。今回感じたことをその場限りで終わらせず、明日からの生活や学習に生かしていきましょう。先輩からのメッセージを真摯に受け止め、自分の進路を自分の力で切りひらいてほしいと思います。